

森の恵み

県産木材を使った
燻製にチャレンジ

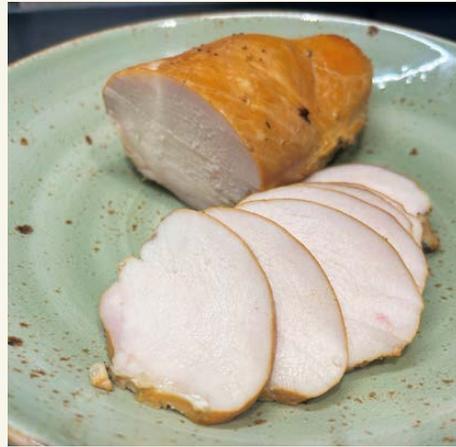
森を感じる燻製レシピ

山形のヤマザクラで燻製した鶏肉

8月1日から31日までの期間中、遊学館(山形県立図書館)にて「やまがた緑環境税」を活用した取組みを紹介する展示を行います。

この展示に合わせて、「遊学館カフェレストランIL BUL×森づくり」メニューとして、山形県産のヤマザクラで燻製した鶏肉を使ったメニューを提供します。

今回は、特別にこの鶏肉の燻製のレシピをお届けします!



材料

・蒸し鶏(鶏むね肉)

準備するもの

- ・ヤマザクラのチップ(ひとつかみ程度)
- ・汚れてもいい蓋付き鍋(フッ素樹脂加工のものは×)
- ・鍋とサイズの合うざる

作り方

- ①鍋底にヤマザクラのチップを敷き詰める。(チップの下にアルミホイルを敷くと焦げ付き防止になります)
- ②煙が立つまで鍋を中火~強火で熱する。
- ③弱火にし、ざるをはめ込み鶏肉をのせる。
- ④蓋をして1.5分燻製し、裏返しにしてさらに1.5分燻製する。

メモ

- ・燻製の強さ(煙の量・時間)はお好みで調整してください。
- ・ほかのお肉でも美味しくできます。
- ・ゆで卵や魚も美味しいです。いろいろお試しください。

Special Thanks

有限会社 アイタ材木店

今回使用するヤマザクラのスモークチップは、アイタ材木店様(山形市沼木)にご協力いただきました。使ってみたいという方は、アイタ材木店様へ(ヤマザクラ以外の樹種でも対応可能)。

「やまがたの木」認定事業者として県産材の利用拡大に取り組んでいます。
OPEN 9:00~17:00 日祝休
TEL 023-643-8201



Homepage



IL BLU

素材の個性を大切に四季の変化が豊かな山形ならではのイタリアンを提供しています。

OPEN Cafe 9:00-18:00
Lunch 11:00-14:00
月曜日・第3日曜日休
TEL 023-631-7808



Homepage



Instagram

Chef's Comment

IL BLU
山下 健 オーナーシェフ

県産木材を使った燻製の香りと味わいを楽しみながら、私たちの暮らしに欠かせない森林の大切さに思いを巡らせ、自然の恵みを感じていただければと思います。



プロフィール

白壁 洋子さん

秋田県湯沢市出身。民間企業でサラリーマン生活。その間、登山で県内外の森林環境を体感。森林ボランティア団体「森の仲間たち」を立ち上げ、森づくりや自然観察会を開催。特に里山の植物をテーマに観察会を行う。

もりしあ人

— 森がある幸せを伝えたい —

今回のもりしあ人は「森の仲間たち」の自然観察指導員白壁洋子さんです。県内各地で森の中の遊び方や植物観察の指導を実践されており、森林環境教育に精通されている森の先生です。白壁さんがどんな経緯で活動を始めたのか、何を伝えたいのか取材してきました。

Q. 白壁さんはどんな活動をされていますか?
A. 「森の仲間たち」という森林ボランティア団体を作り、森の現状を伝えていきます。



この植物はなんだろう？
森のたんけん手帳で探してみよう!

めに自然観察指導員の資格を取得しました。

Q. 活動している中で何を大切にされていますか?
A. わたしたちのいる森や自然はどうなっているか、一緒に見て学んでいくことです。

私が一方的に伝えるのではなく、森がどうなっているか、自然の中で生き物がどう暮らしているか等を参加者と共に自然を観察し、その魅力を発見してもらうことに重きを置いています。「自分で考える。」これが本当に大切で、自分



5枚の葉っぱの植物の覚え方
コ・シ・ア・ブ・ラ

で考えないと自分の知識にならないんです。「私が教えているんだ」という気持ちは一切なく、参加者からも教えてもらいたい。例えば、「フキノトウ」は地方によっては「バンケ」と呼んだりしますが、そのような参加者がそれまで培ってきた地元ならではの情報を共有してもらうことで私も勉強になります。

Q. 活動を通して伝えたいことを教えてください。
A. 森や自然に対する理解を深めることです。

現代の人々は、森や自然との間に距離ができてしまっていると思います。以前、講演会でお話した際、参加者の方々に「森の中にあるものはなんですか?」と問いかけました。すると、木は出てきた

のですが、水や空気、そこに住む生き物についてはほとんど出てきませんでした。森が水をろ過・貯留したり、生き物のすみかになっているという関連付けがないんです。自然を守るために何をしたらよいかわからないという人が多くいますが、気候変動や生物多様性の危機に直面している今こそ、森の中に入って自分の目で自然を観察することが、自然環境への理解を深める第一歩と考えています。

Q. 今後の抱負をお願いします。
A. 自然を通して社会貢献! 身近な中に自然を見つけない、生き物にも関わる人が増えるといいですね。そんな仲間が増えることで、持続可能な未来に向けて貢献できることになると思います。自然観察会を通じて、多くの人々に自然の魅力と重要性を伝え続けていきたいと思っています。



白壁さんに自然観察会を依頼したい方はこちらからお問い合わせください。(個人からの依頼も受付可)
somabito@amber.plala.or.jp